

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 放課後子供教室の取組事例

## 「放課後子ども教室の成果等」(岩手県宮古市)

### 取組の概要や経緯

平成29年度は、市内で唯一学区内に学童の家の設置がない川井小学校において「川井放課後子ども教室」を開設している。

### 内容

地域住民を安全管理員として配置し、放課後の安全・安心な子どもの居場所として教室を設置し、週3日程度開設している。

#### ○主な活動

宿題の補助、読み聞かせ、自由遊びの見守り、クリスマス会や装飾づくりなど季節のイベント



### ポイント

- ・川井小学校は5校が統合して生まれた学校であり、学区が非常に広くすべての児童がスクールバス通学である。そのため、自宅に帰ると子ども同士で遊んだり、一緒に勉強等を行う時間も場所もなく、放課後子ども教室が唯一交流等の拠点となっている。
- ・参加者は1年生から3年生までであり、教室の開設時間は高学年が授業が終わりスクールバスで帰る時間までとなっている。これにより、低学年が兄や姉など上級生と一緒に帰ることが出来る環境となっており、保護者も安心して子どもの帰りを待つことが出来ている。

### 成果

- ・平成28年度に行ったアンケートにおける、参加児童やその保護者、安全管理員等の事業の成果に関する肯定的な回答割合は95.5%と非常に高く、事業への満足度は高い。
- ・安全管理員は、宿題の補助や見守り活動だけにならないよう、季節ごとに趣向を凝らした体験活動をプログラムに組み込むなど、工夫した取り組みを行っている。
- ・児童は、教室に行ったらすぐに宿題を行うことが習慣化しており、学習習慣の定着にも寄与している。

### 今後の方向性

- ・学校や保護者のニーズに沿った教室運営に努める。
- ・安全管理員が2名と不足していることから、成り手の確保・育成を図る。